

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	博物館機能強化のための支援事業		担当部局庁	文化庁	作成責任者		
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	観光立国、地方創生	担当課室	企画調整課	課長 寺本恒昌	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	教育基本法 第12条 社会教育法 第3条 博物館法 第3条、文化観光推進法		関係する計画、通知等	文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)			
主要政策・施策	観光立国、地方創生		主要経費	その他の事項経費			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	文化審議会博物館部会において「これからの博物館に求められる役割」(5つの方向性)が提示され、これまで博物館が担ってきた基本的な役割とともに、新たに社会的・地域的な課題への対応と、持続可能な経営基盤の確立の必要性が示された。これを踏まえた改正博物館法の施行を見据えて、本事業では博物館に求められる新たな役割に対応するための先進的な取組を促進する。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	①地域と共働した創造活動支援事業(定額補助) 美術館・歴史博物館が地域文化の核となって地域文化の発信、子供・若者・障がい者・高齢者が参加できるプログラム、学校教育との連携によるアウトリーチ活動等の支援を行う。 ②博物館の専門人材の養成等 学芸員等を対象とした専門的・実務的な知識・技術に関する研修を行うとともに、知識・技術の修得及び調査を目的とした海外の博物館への派遣を実施する。また、学芸員資格の認定に係る試験及び審査を実施する。						
実施方法	直接実施、委託・請負、補助						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求
		補正予算	-	-	436	-	-
		前年度から繰越し	-	-	25	28	-
		翌年度へ繰越し	-	-	▲ 28	-	-
		予備費等	-	-	-	-	-
		計	0	0	433	28	0
	執行額	0	0	307	-	-	
	執行率 (%)	-	-	71%	-	-	
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	-	-	70%	-	-	
	令和4・5年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由		
文化芸術振興費補助金		-	-				
文化芸術振興委託費		-	-				
委員等旅費		-	-				
諸謝金		-	-				
庁費		-	-				
計		-	-				

活動内容 (アクティビティ)	博物館が核となって、他者との連携により実施する地域文化の発信や、子供や高齢者等あらゆる者が参加できるプログラム、学校教育等との連携によるアウトリーチ活動、新たな機能の創造等を支援する。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	補助対象事業を40程度確保する	補助対象事業を実施する実行委員会数	活動実績	事業	-	-	59	-	-	
			当初見込み	事業	-	-	40	-	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	補助事業予算額/補助対象事業数			単位当たりコスト	千円	-	-	380,000	-	
				計算式	千円/事業	-	-	6,440	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度	
	全国の博物館における「民間社会教育事業者との連携・協力状況」について、前回調査時の実績以上の事業数を目指す。	事業の企画・実施に当たって、民間社会教育事業者と連携・協力した事業の件数(成果実績については中間報告集計結果による)	成果実績	館	-	-	393	-	-	
			目標値	館	-	-	562	-	-	
			達成度	%	-	-	70	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	社会教育統計博物館調査(博物館)及び(博物館類似施設)									
活動内容(アクティビティ)	学芸員等を対象とした専門的・実務的な知識・技術に関する研修を行う。									
活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	研修受講者を毎年150名程度確保する。	研修の受講者数	活動実績	人	-	-	177			
			当初見込み	人	-	-	150	430		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	研修事業における執行額/研修の受講者数			単位当たりコスト	円	-	-	31,821.7	-	
				計算式	円/人	-	-	5,632,435/177	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標年度	目標最終年度	
	研修受講者等のうち、研修満足度について最も高い評価をつけた者の割合を60%以上にする	研修受講者のうち、研修満足度について最も高い評価をつけた者の割合	成果実績	%	-	-	64.9	-	-	
			目標値	%	-	-	60	-	-	
			達成度	%	-	-	108.2	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	研修終了後のアンケート									
政策評価 政策評価書URL 該当箇所	政策	12 文化芸術の振興								
	施策	政策評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_12-4.pdf							
		該当箇所	施策目標12-4-1							

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、博物館等が地域振興や地域の活性化の役割を果たせるよう、機能強化・活動の充実を図るものであり国民のニーズが高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は、文化芸術の振興に関する基本的な方針(第4次基本方針)においてその必要性が明記されるなど、国として実施する必要がある。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	本事業は、博物館等が地域振興や地域活性化の役割を果たせるよう、機能強化・活動の充実を図るものであり、優先度が高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札による支出先の選定を行うこと等により、選定の妥当性や競争性を確保している。一者応札の案件があったことから、業者が業務量を把握しやすくするよう仕様書に明示的に示すなど、仕様書の見直しを行った。仕様は同業他社の参加を不当に制限するものではなく、公告期間も十分に設けているものではあるが、一者応札の状況が改善されるようさらに検討していく。 補助事業においては支出対象経費を定め、受益者との負担関係が妥当となるよう事業を行っている。 採択に当たっては、外部有識者による審査委員会により事業規模と予算の妥当性を確保しながら事業を実施している。経費の執行については、実績報告書等において、支出先・用途の把握、経費の使用状況等の確認に努めている。 費目と用途は、事業目的に真に必要なものを予算計上しており、対象経費は補助要項等で厳格に定めて事業を実施しコロナ事由による事業計画の後ろ倒しや事業規模を縮小したこと等による。 コロナ対応のために計上されたR3年度補正予算の執行を翌年度(R4)に予定しているため、必要な手続きとして繰越を実績報告書や証憑書類の確認等によって、より適切に補助金が執行されるよう努めている。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有			
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有			
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○			
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	定量的な成果目標を定め、達成状況を把握することとしている。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	効率的かつ実効性の高い運用を図っている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	着実な実施に努めており、概ね見込みに見合った活動実績を挙げている。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	着実な実施に努めており、概ね施設や成果物の活用は充分に行われている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	「博物館文化拠点機能強化プラン」は、文化観光推進法に基づいて認定を受けた拠点計画や地域計画に基づき実施される事業に対し、文化資源の磨き上げ等の取組を支援するもので、事業内容が重複することはない。		
	事業番号			事業名	
	文部科学省	21		0416	博物館文化拠点機能強化プラン
点検・改善結果	点検結果	令和2年度はコロナの影響により執行率が低かったところ、令和3年度の事業実施方法の見直しとして、①事業の募集を早期に実施することにより、事業遂行期間の確保し、②各事業計画において、コロナ禍における事業実施を見据えた事業計画の策定やオンライン活用を積極的に行った。			
	改善の方向性	事業実施方法の見直しにより、執行率について改善が見られている。			
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
終了予定	本事業は、当初計画に基づき令和4年度をもって予定通り終了。 なお、外部有識者の指摘を踏まえ、本事業の成果の検証を行い、今後の事業実施に活用すべきである。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
予定通り	当初計画に基づき、令和4年度をもって予定通り終了。				

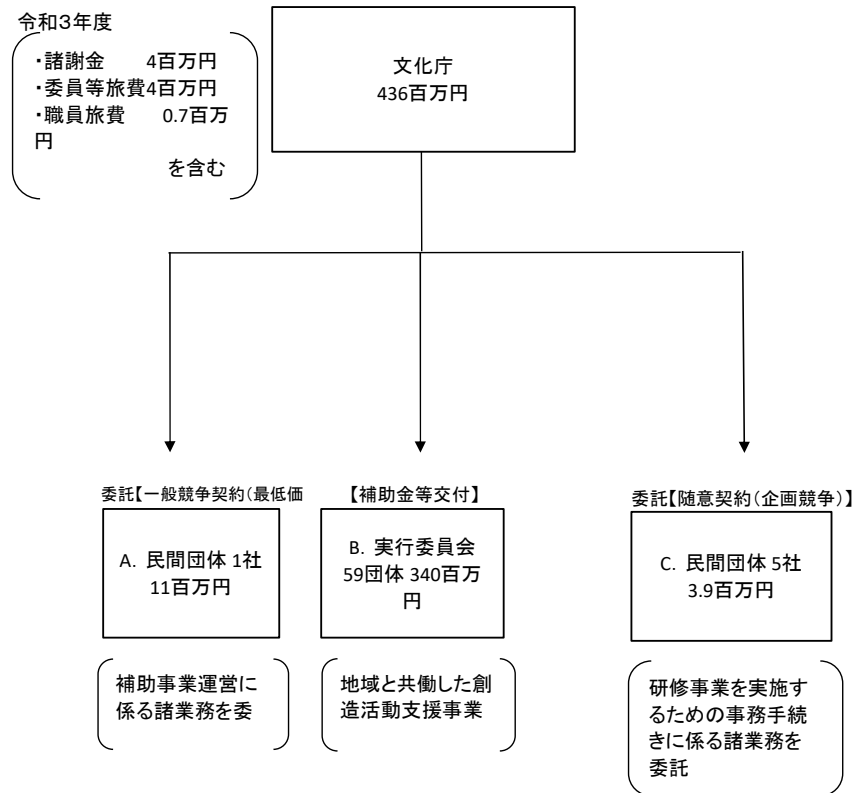
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				
平成28年度				
平成29年度				
平成30年度				
令和元年度				
令和2年度	文部科学省	新02	0029	
令和3年度	2021	20	0416	

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.株式会社KNTビジネスクリエイト			B.OPAM地域連携創造事業実行委員会		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	事業運営業務	11	補助金	採択実行委員会への補助金	15
計		11	計		15
C.公益財団法人日本博物館協会					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	学芸員等在外派遣研修事業	2			
計		2	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社KNTビジネススクリエイト	6010601035280	補助事業運営に係る諸業務	11	一般競争契約 (最低価格)	2	82.4%	-

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	OPAM地域連携創造事業実行委員会	-	OPAM地域連携創造事業	15	補助金等交付	-	-	-
2	博物館と市民による持続可能なふるさと再生プロジェクト実行委員会	-	博物館と市民による持続可能なふるさと再生プロジェクト	15	補助金等交付	-	-	-
3	ポリフォニックミュージアムネットワーク実行委員会	6700150091770	ポリフォニックミュージアム～文化の光を灯す星々～	15	補助金等交付	-	-	-
4	スポーツミュージアムの連携によるスポーツレガシーの継承・啓発プロジェクト実行委員会	-	スポーツミュージアムの連携によるスポーツレガシーの継承・啓発プロジェクト	14	補助金等交付	-	-	-
5	京都歴史文化施設クラスター実行委員会	-	地域文化イノベーションのための博物館活動形成プロジェクト	14	補助金等交付	-	-	-
6	舞鶴市歴史遺産活用推進委員会	-	舞鶴市歴史遺産を活用した地域づくり未来づくり事業	12	補助金等交付	-	-	-
7	ミュージアム活性化実行委員会	-	コロナ禍を契機とした新たな利用形態の開発に向けて都市型地域ミュージアムモデル形成事業	12	補助金等交付	-	-	-
8	ウイズコロナの時代に対応した新たなミュージアム国際交流・連携事業実行委員会	-	ウイズコロナの時代に対応した新たなミュージアム国際交流・連携事業	11	補助金等交付	-	-	-
9	八重瀬町地域伝統文化啓発実行委員会	-	八重瀬町歴史民俗資料館プラトホーム形成事業	10	補助金等交付	-	-	-
10	亀岡市デジタルミュージアム促進協議会	-	先端技術を用いた亀岡市周辺社寺等の文化財コンテンツ開発・展示	10	補助金等交付	-	-	-

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人日本博物館協会	6010005004188	学芸員等在外派遣事業	2	随意契約 (企画競争)	1	100%	-
2	株式会社KAFKAー和布可	2011001061680	令和3年度全国博物館長会議(第28回)オンライン開催支援業務	0.8	随意契約 (少額)	-	-	-
3	株式会社KAFKAー和布可	2011001061680	学芸員資格認定(審査認定)におけるオンライン面接の運営支援	0.7	随意契約 (少額)	-	-	-
4	株式会社内浦	8010601001198	ミュージアム・エデュケーション研修 実施通知の印刷・発送作業	0.2	随意契約 (少額)	-	-	-
5	株式会社ブルーホップ	6010001056290	ミュージアム・エデュケーション研修 実施通知の印刷・発送作業	0.2	随意契約 (少額)	-	-	-
6	株式会社ワーナー	3040001008060	ミュージアム・エデュケーション研修 課題集印刷	0	随意契約 (少額)	-	-	-
7	株式会社ワーナー	3040001008060	学芸員資格認定 受験案内印刷	0	随意契約 (少額)	-	-	-